

2年1組 道徳科学習指導案

日 時 平成30年10月26日 第5校時
場 所 小島小学校 2年1組教室

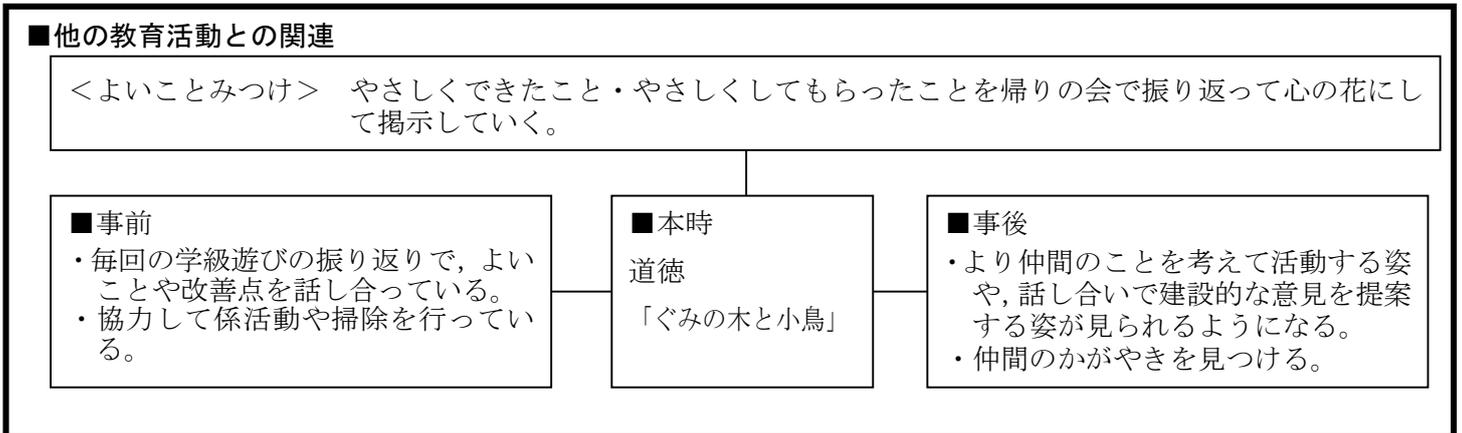
1 主題構成表

主題名 おもいやりのこころ

資料名 ぐみの木と小鳥

<p>■内容項目 B—(6)</p> <p>身近にいる人に温かい心で接し、親切にすること</p>	<p>■価値の分析</p> <ul style="list-style-type: none">・思いやりの心とは、相手のことを自分のことのようにして考えたり、感じたりすることができるということである。思いやりが行為となって行動に表されるのが親切である。自分の利害を乗り越えて他人の苦しみや悲しみを理解し、親切にできる心情を育てることが大切である。・低学年では友達と仲良くしたり助け合ったりすることについて考えを深められるようにする必要がある。また、相手の気持ちを考えることの大切さと同時に、親切にすることで、自分も相手も互いに温かい気持ちになることに気付かせたい。・この時期の児童は、友達や周囲の人に心を配るようになりつつあるが、まだ自分本位で相手の気持ちを考えられずに行動してしまうことがある。その結果、友達と助け合って活動することができない場合もみられる。そこで、自分本位な考えではなく相手の立場に立って物事を考えることや、自分と異なる考えの友達とも助け合ったり仲良くしたりすることの大切さに気付かせていく必要がある。	<p>■教材(資料)の分析</p> <ul style="list-style-type: none">・この頃姿を見せないりすを心配するぐみの木に頼まれて、りすの様子を見に行った小鳥は、りすが病気であることを知る。そして、嵐の日でさえもぐみの実を届けに行く。届けに来た小鳥に感謝するりす。ぐみの木・小鳥・りすの互いを思いやる心と、それを具体的に実行にした行為が描かれており、三者のそれぞれの心と行為・行動の関係を具体的に考えることのできる教材である。・実を届けてもらったりすと、届けた小鳥、りすの様子を知って小鳥に感謝するぐみの木の、三者の気持ちを考えることを通して、親切にされた側もした側も温かい気持ちになることに気づき、親切にしようとする心情を育てる。
--	--	--

<p>■ねらい</p> <p>身近にいる人の身の上や心情に思いを寄せ、温かい心で接するよさを大切にし、親切にしていこうとする心情を育てる。</p>



2 本時の展開

	基本発問と予想される児童の反応	指導・援助 *人権教育の観点
導入	<p>1 親切にしてもらったことについて考える。</p> <p>○親切にしてもらってうれしかったことはありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仲間に入れてといたら、いいよと言ってくれたよ。 ・転んだときに大丈夫？と心配してくれたよ。 ・教科書を忘れたときに隣の席の子が見せてくれたよ。 ・体育のときに、がんばってと応援してくれたよ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・親切についてのイメージを膨らませ、資料の登場人物と共感できる部分があることを伝える。
展開前段	<p>2 資料を聞き、主人公の気持ちや行動について話し合う。</p> <p>○感想を發表しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぐみの実をりすさんに運んだ小鳥さんはすごいなと思いました。 ・りすさんのことを心配しているぐみの木も優しいと思いました。 <p>◎ぐみの木、小鳥、りすのそれぞれの気持ちを考えましょう。</p> <p>○りすのことを小鳥に話したとき、ぐみの木はどんな気持ちでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・このごろ来ないから心配だな。 ・どうしたのだろう。何かあったのかな。 ・おなかがすいて困っているかもしれないな。 <p>○嵐の中をりすの家に向かって飛んでいく小鳥はどんな気持ちでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぼくがぐみの実を届けなくてりすさんは困ってしまう。 ・りすさんが待っているから頑張って届けよう。 ・りすさんに早く元気になってほしいな。 ・嵐はつらいけど、りすさんのためにがんばろう。 <p>○嵐の中を小鳥がぐみの実を届けてくれたとき、りすはどんな気持ちでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こんな嵐の中届けてくれて、ありがとう。 ・早く元気になるよ。 ・ぐみの木にも会いに行きたいな。 ・2人ともありがとう。 ・とってもうれしいよ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>深めの発問</p> <p>○ぐみの木や小鳥がこのような行動ができたのは、どうしてでしょう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・困っている友達を助きたいから。 ・友達のことが心配だから。 ・自分がされたらうれしいことだから、相手にもしてあげようと思った。 ・ほかほか行動だから、相手が喜ぶと思ったから。 ・飛んでいってぐみの実を届けるのは、自分にしかできないことだから。 	<ul style="list-style-type: none"> ・資料名、主題名を板書。登場人物を確認し、内容をつかむ際のポイントを示す。 ・主人公に共感できる部分や感心した部分、みんなで考えていきたい部分について交流する。 ・必要に応じてお面で役割演技を行い、気持ちに迫っていく。 ・毎日来ていたりりすの様子を気遣う、ぐみの木の気持ちについて考えられるようにする。 ・嵐の中飛んでいくのは危険だから、嵐がおさまってからにしたらと促す。 ・りすの気持ちを考えると同時に、このときの小鳥の気持ちにもふれ、親切にした側もされた側も互いに温かい気持ちになることを感じさせる。 ・三人が友達のことを考えて支え合っていることや、思いやりの心でつながっていることをおさえる。 *自分の行動によって相手がどのような気持ちになるかを相手の立場になって考え、仲間に親切にしていこうという気持ちをもつことができる。(自己啓発力)
展開後段	<p>3 自分の生活を振り返る。</p> <p>○小鳥宛に手紙を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・りすさんのことを思って行動してすごいね。優しいなと思ったよ。りすさんもきつうれしかったと思うよ。わたしもこれから、友達に優しくしたり、親切にしたりしたいよ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の話を振り返りながら、自分が親切にされた経験や、今後どのように行動したいかを主人公に手紙を書くかたちでまとめるためのワークシートを準備する。
終末	<p>4 教師の説話を聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今後さらに、自分のことだけでなく、相手の気持ちを考えて親切にすることを大切にしていってほしいことを話す。